

精神障害に対する理解を促進するための福祉学習推進プロジェクト

明石市基幹相談支援センター
(明石市地域自立支援協議会くらし部会事務局)

1. 現状と課題

障害のある方への差別や不平等、排除や参加の制約等の解消には、まずもって障害に対する地域の理解が不可欠である。

これまで、明石市地域自立支援協議会くらし部会において、市民を対象に精神障害に対する正しい理解の促進を目的とした「市民向けメンタルヘルズ講座」を実施してきたが、テーマ設定が難しく、企画運営や研修講師の確保に苦慮している。また散発的に行うしかなく効果測定が困難である。

2. プロジェクトの目的

兵庫県立大学（看護学部）・兵庫大学（生涯福祉学部）と協働して、精神障害に対する理解を促進するための教材開発に取り組む。あわせて、明石市社会福祉協議会が企画運営する福祉学習で当該教材を試行的に運用して効果検証を行うとともに、その他の運用方法についても検討を進める。

3. 教材

- ① テーマ 一から学ぶころの病 ～自分や大切な人のために～
- ② 形式 PowerPoint ※ノート部分に読み原稿も作成もする。

4. スケジュール（案）

令和3年 10月	11月	12月	令和4年 1月	2月	3月	
教材開発依頼	教材作成・監修等 / 定期会合（月1程度）				くらし部会長へ提出	報告会兼意見交換会

※ 令和4年3月7日（月）13：30より、明石市立総合福祉センター大会議室にて報告会兼意見交換会を実施する。

※ 当日は、くらし部会関係者の他、ピアポの会や家族会の代表等を招待する予定。